

開館記念特別展

有三・信子・トヨの育った時代

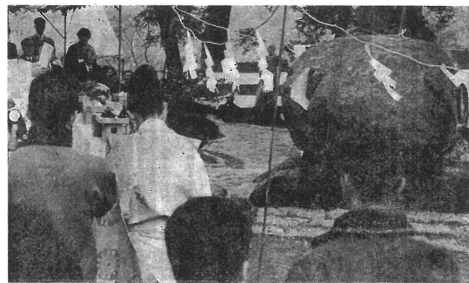
令和4年4月27日(水)～9月25日(日)

当館では、栃木市ゆかりの作家や作品など、文学を中心とした企画展を開催します。

開館後最初の企画展となる本展では、開館記念特別展として常設展示の中心となる山本有三(明治20年～昭和49年<1887～1974>)、吉屋信子(明治29年～昭和48年<1896～1973>)、柴田トヨ(明治44年～平成25年<1911～2013>)が育った時代を中心とする昔の栃木の街にスポットを当てます。3人が暮らしていた時代の街並みや人々の生活がどのようなものであったか、また現在はどのように変わっているかを紹介합니다。



栃木第二公園



山上の文学碑
一九六三年三月九日の午後、折からの雪もよの空に、山上の風は意外につめたい。山本文学にゆかりの深い郷里、ここ北関東の景勝地、県立公園大平山の麓、信平に、栃木市民を代表する人々が、名譽市民山本有三先生の文学碑の除幕式に参集する。昔ながらの美しい晴姿に、文豪の温厚は思はずほころびやがて碑を包む白雲が降り、「前傳の口」の一節の碑文が読みかざるようにもあられで参列者一同は感激にひたる。そこには風雪に耐えながら志にもえたる一少年の姿が、一つのかままりになって、息づいて坐っている。新しい都市に脱皮しようとしてけんめいに努力する栃木市に、再建を送るかのように、再建に坐っている。

太平山文学碑除幕式の様子(『栃木市政だより』127号)

1階コーナー展示 無料

旧栃木町役場庁舎

文学館の建物は、「旧栃木町役場庁舎」として市の文化財に指定されています。その歴史や構造について紹介する展示を行います。



(昭和11年 町勢要覧口絵より)



小平浪平肖像写真

日立製作所創業者

小平浪平 ～以和為貴～

栃木市の歴史に足跡をのこした人々を紹介するコーナーでは、日立製作所の創業者である小平浪平(都賀町合戦場出身)の関連資料をはじめ、田村律之助(「ビール麦の父」)や栃木山守也(第27代横綱)などの業績やゆかりの地を紹介するパネル展示を行います。

栃木市立文学館

Tochigi City Literature Museum

〒328-0016 栃木県栃木市入舟町7-31 TEL 0282-25-5400 FAX 0282-22-5169



アクセス

電車 栃木駅(JR両毛線、東武日光線)下車、北口から徒歩約20分
 バス 栃木駅(北口)からふれあいバス「市街地循環線(西回り)」等で「藤沼酒店」下車、徒歩約1分
 車 東北自動車道 栃木ICから約10分

会期 令和4年4月27日(水)～9月25日(日)
 *4月27日は13時開館

会場 2階 多目的室

開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)

休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し、火曜日休館)
 祝日の翌日(祝日の翌日が土曜・日曜・祝日の場合は開館)
 年 末 年 始 (12月29日～1月3日)

観覧料	区分	一般	中学生以下
	特別展	330円	無料
	常設展	(260円)	
	常設展のみ	220円	
1階コーナー展示	無料		

* () 内は20名以上の団体割引料金
 * 身体障害者手帳等の交付を受けている方とその介助者1名は無料